

球磨川通信

ツクシイバラ特集

『もうすぐ100年』

～発見は1917年です～

あさぎり町から錦町の球磨川河川敷に自生する

“ツクシイバラ”は、直径3～4センチの薄いピンクの花を咲かせ、辺り一面に清らかな甘い香りが漂います。

このように単一バラの野生種が一面に群生するのは世界的にも珍しく、準絶滅危惧種（熊本県レッドデータブック2009）に指定されている大変貴重な植物です。

河川環境の変化や盗掘などにより、一時絶滅の危機にありましたが、町と地元住民が一体となった保護活動により数千株にまで回復しました。

現在も球磨川河川敷の自生地では、住民団体が中心となりコンサートやランニング大会、夜間のライトアップなど様々なイベントを開催し、ツクシイバラの保護とともに自然環境の保護や地域づくりを目的とした活動を行っています。

ツクシイバラ自生地を守るため、生態をよく理解し、挿し木や接ぎ木など人の手を加えず自然のままに大切にしましょう。



市民ボランティアによる除草作業（2月～5月）

開花時期 5月下旬～6月中旬
九州を意味するつくし（筑紫）と
イバラを合わせた名前
～花言葉「かわらない愛情」～



ツクシイバラコンサート（5月）



ライトアップ（5月中旬～6月上旬）

〔お願い〕

- ・ゴミは各自お持ち帰り下さい
- ・ツクシイバラは大変貴重な植物です マナーを守って優しく見守って頂きますようお願いいたします
- ・ダニ、ヘビ等にご注意下さい

球磨川ツクシイバラの会が 河川協力団体に

国土交通省では、平成25年6月に、自発的に河川の維持、河川環境の保全等に関する活動を行うNPO等の民間団体を支援するために、「河川協力団体制度」を創設しました。

この河川協力団体に指定されると、活動に必要な河川法上の許可等が協議で足り、様々な活動がしやすくなります。河川管理者と河川協力団体が協力しあって活動の維持または発展を期待するものです。

錦町の球磨川でツクシイバラ自生地の保全活動を行っている“球磨川ツクシイバラの会”のみなさんは、これまでの球磨川における取り組みや活動が認められたことにより、河川協力団体として指定され、平成27年4月30日に、人吉出張所において河川協力団体指定証授与式が行われ、八代河川国道事務所長より指定証が授与されました。



5月に咲く黄色い花の植物 ご存知ですか？



道端や堤防に黄色いコスモスに似た花を見たことはありませんか？とてもキレイなのですが、実はこれ「**オオキンケイギク**」という植物で、特定外来生物に指定されているんです。

ものすごい繁殖力を持つために、本来そこにいるべき植物を押しつけてまで成長する厄介者で、放っておくと周辺の生態系を壊してしまう恐れがあるのです。

この「**オオキンケイギク**」を見かけましたら、花が咲いているうちに根っこから抜いて枯らしてから燃えるごみで処分するなどしてください。

栽培や繁殖拡大をすることは禁じられております。
ご協力のほどよろしくお願いいたします。

地域を守る建設産業～シリーズその③～

建設業協会人吉支部による稚アユの放流

- 平成27年4月28日、熊本県建設業協会人吉支部の主催で、球磨川の中川原公園において、地元の園児たちによる稚アユ放流が行われました。
- 毎年、球磨川漁業協同組合とのタイアップ事業として園児たちを招かれて行われているもので、今年で8回目です。
- 今年は、園児26人、熊本県建設業協会人吉支部等約20人の手により、球磨川漁業協同組合が八代市からトラックに乗せてきた稚アユ2万2500匹が球磨川に優しく放流されました。
- 稚アユ放流は、子供たちに命や自然の大切さを知ってもらう良い機会ともなっており、地域からも「貴重な体験ができた」と喜ばれています。

出典：写真提供／栄建設（株）



稚アユを球磨川に放流する園児たち



球磨川通信は、下記の八代河川国道事務所HPで公表しています
八代河川国道事務所HP <http://www.csr.mlit.go.jp/yatusiro/>